

平成 24 年度事業報告書

公益社団法人 熊本県精神科協会

平成 24 年度の事業を次のとおり行ったことを報告します。

1 公益法人運営関係

(1) 総会・院長会・理事会・日精協熊本県支部総会

総会	1 回	平成 24 年 5 月 31 日
院長会	7 回	5/31、6/21、7/19、9/26、11/22、1/24、3/21
理事会	12 回	4/26、5/31、6/21、7/19、8/23、9/26、10/18、11/22、12/6、1/24、2/28、3/21
日精協熊本県支部総会	1 回	平成 24 年 5 月 31 日

(2) 委員会・部会

委員会名	開催回数	主な活動
総務委員会	1 回	・熊精協法人運営の全般について
学術委員会	12 回	・学術講演会の開催について
地域医療委員会	12 回	・精神科 2 次救急医療輪番制委託事業について ・精神障害者搬送委託事業について ・精神科救急医療体制整備に関する検討
福祉厚生委員会	1 回	・第 10 回くませいフェスタの開催について
編集広報委員会	4 回	・「熊精協会誌」の発行について
病院運営委員会	2 回	・全体会議・研修会の開催について
看護部会	3 回	・総会及び研修会の開催について
栄養部会	2 回	・総会及び研修会の開催について
コ・メディカル部会	2 回	・総会及び研修会の開催について
薬剤師部会	2 回	・総会及び研修会の開催について

2 共益目的事業（会員相互間の共益事業）

(1) 講演会

	演 題	講 師	開 催 日
1	「統合失調症治療における服薬状況の MEMS 多施設研究—アドヒアランスを維持することの重要性—」	明生病院医長 趙 岳人 先生	平成 24 年 7 月 19 日

2	「産業医と精神科医の連携問題」	産業医科大学医学部精神科 准教授 新開 隆弘 先生	平成 24 年 9 月 26 日
3	「統合失調症と双極性障害に関する話題提供」	弘前大学医学部精神神経科 准教授 古郡 規雄 先生	平成 24 年 11 月 22 日
4	「認知症施策における精神科の位置づけ」	熊本大学大学院生命科学研究部脳機能病態学分野（神経精神科） 教授 池田 学 先生	平成 25 年 1 月 24 日
5	「発達障害と医療」	東京都立小児総合医療センター 顧問 市川宏伸 先生	平成 24 年 3 月 21 日
共催・後援（講演会）			
	演 題	講 師	開 催 日
6	「認知症のトータルケア」	香川大学医学部精神神経医学講座 教授 中村 祐 先生	平成 24 年 9 月 21 日 ヤンセンファーマ(株) 武田薬品(株)
7	「うつ病治療における最近の話題について」	千葉大学大学院医学研究院神経医学) 教授 伊藤 雅臣 先生	平成 24 年 9 月 21 日 熊本レメロン学術講演会 MSD(株)
8	「統合失調症の急性期治療から社会復帰へ向けた取り組みについて薬物療法と地域移行を中心に」	明生病院院長 小田 浩一 先生 菊陽病院 和田 冬樹 先生	平成 24 年 9 月 21 日 熊本A P P研究会 大日本住友製薬(株)
9	「アルツハイマー病の最先端研究シンポジウム」	熊本大学 名誉教授 天草病院長 宮川太平 先生 他	平成 24 年 9 月 29 日 ホテルキャッスル
10	「双極性障害における薬物療法：最近の動向」	大谷地病院臨床研究センター長 小山 司 先生	平成 24 年 10 月 12 日 熊本D S S フォーラム大塚製薬(株)
11	「私の統合失調症「生活臨床」的働きかけも」	島根大学医学部精神医学講座 教授 堀口淳 先生	平成 25 年 12 月 22 日 日本イーライリリー(株)
12	「医療安全からみた精神科診療と薬物治療」	弁護士・医学博士・M B A 田邊 昇 先生	平成 24 年 2 月 24 日 日本イーライリリー(株)

(2) 研修会

①看護部会研修会（第59回・第60回・第61回）

	開催日	会場	内容
1	平成24年7月25日 第59回研修会	熊本テルサ	総会（報告・計画） 講演「熊本県精神科救急情報センターについて」 講師 益城病院 理事長 犬飼 邦明 先生
2	平成24年11月10日 第60回研修会	県立劇場	講演Ⅰ「診療報酬からみる看護の展望」 講師 元日本看護協会政策企画室長 石田まさひろ先生 講演Ⅱ「看護管理に携わる者の使命」 講師 医療法人あおば病院 齋所 純子 先生
3	平成25年3月8日 第61回研修会	県立劇場	講演「精神看護の現状と今後」 講師 崩壊大学健康科学部看護学科看護学 准教授 天賀谷 隆 先生

②栄養部会研修会

	開催日	会場	内容
1	平成24年8月16日	(株)ハウディ 第一別館	講義1「微量元素と栄養疾患について」講師：大塚製薬学術員 葛西 雅美 氏 講義2「認知症を取りまく栄養について」講師：沖縄リハビリテーションセンター病院 吉田 貞夫 先生
	平成25年2月22日	(株)ハウディ 第一別館	講義「大豆イソフラボン エクオールの有効性について」 講師：大塚製薬 石田 晋也 氏

③コ・メディカル部会研修会（第43回・第44回）

	開催日	会場	内容
1	平成24年7月26日 第43回	熊本テルサ	総会（報告・計画） 講演「災害時の心理的ケア」 講師：熊本県精神保健福祉センター所長 中島 央 先生

2	平成 24 年 11 月 28 日 第 44 回	熊本テルサ	講演 1 「発達障害の特性について」 講師：希望ヶ丘病院 院長 松本 武士先生 講演 2 ホープヒル「子どもと親の支援センター」 講師 作業療法士 下田健一郎氏
---	-----------------------------	-------	--

④薬剤師部会研修会

	開催日	会場	内容
1	平成 24 年 9 月 1 日 第 21 回	国際交流会館	講演「チャンピックの拮抗作用と刺激作用について」 講師：ファイザー(株)循環器領域ブランドマネージャー 平田 佳容 先生
2	平成 25 年 3 月 16 日 第 22 回	国際交流会館	講演「統合失調症とグルタミン仮説」 講師：中外製薬(株)臨床開発部 木村 真子 先生

⑤病院運営委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	平成 24 年 9 月 6 日	くまもと森都心プラザ	研修会：「熊本県、熊本市の精神保健福祉事業の概要について」 講師：熊本県 内村課長補佐 熊本市 神永室長
2	平成 25 年 3 月 22 日	熊本全日空ホテルニュースカイ	講演「強い病院をつくる」 講師：医業コンサルタント 古場 裕基 先生

(3) 精神障害者リハビリ事業

① 「第 10 回くませいフェスタ」の開催

- ・期 日 平成 24 年 6 月 7 日 (木)
- ・開 場 パークドーム熊本 熊本市中央区平山町 2792
- ・参加者 1516 人 (参加 43 病院 患者 816 名 職員 700 名)
- ・成 績 1 位 白ブロック (熊本市北地域 9 病院)
2 位 青ブロック (県北地域 8 病院)

- 3位 緑ブロック (熊本市南地域8病院)
- 4位 赤ブロック (宇城天草地域10病院)
- 5位 黄ブロック (県南地域8病院)

② 作品展示

- ・「第50回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示
期日 平成24年9月21日(金)
会場 熊本県立劇場
- ・「第20回精神障害者作品展示(心の健康フェスタ)」における作品展示
期日 平成24年11月4日(日)
会場 熊本交通センターイベント広場

(4) 機関紙「熊精協会誌」の発刊

年4回発刊(1回発行部数350部)

(5) 熊本県精神科病院協同組合等への協力支援

①熊本県精神科病院協同組合

「あかねクリーン」に対する営業協力等

②熊本県精神保健福祉協会の事業

- ・熊本こころの電話への助成
- ・熊本県精神保健福祉大会開催への協力支援

③熊本県精神保健福祉センター

精神保健福祉センター主催の研修会等への協力支援

④熊本大学医学部神経精神科同門会への協力支援

アルツハイマー病の最先端研究シンポジウムに協賛

⑤熊本大学医学部神経精神科への協力支援

第32回日本社会精神医学会に協賛

(6) 熊本県精神科医療連絡協議会の開催

熊本県の精神医療の在り方等について、県や熊本市並びに関係医療機関と意見交換を行った。

開催期日 平成24年8月25日 (くませいビルにて)

3 公益目的事業

(1) あかね荘事業

【事業内容】

○指定自立訓練(生活訓練)事業(通所型・宿泊型) ○指定短期入所事業を実施。

(1) 指定自立訓練(生活訓練)事業について

施設や病院を退所・退院した方や継続した通院により症状が安定している方で、地域生活への移行や地域生活を営むうえで、必要な生活能力の維持・向上などの訓練や支援を行う事業。

【利用対象者】

主に精神障がい者の方で、自立した日常生活や社会生活を営むうえで不安がある方や自信がない方。

【利用方法】

ご自宅からの通所での利用と一定期間宿泊（宿泊型自立訓練）での利用がある。

【利用定員】

宿泊型自立訓練 定員：50名

【開所日・開所時間】

通所利用の場合は、原則 月曜日～金曜日までの午前9時30分～午後4時まで

【標準利用期間】

2年間（原則1回の利用、更新可）、長期入院者・入所者については3年間

【利用料金】

食費とサービスにかかる総費用額の1割が必要。ただし、サービス総費用額の1割負担については、市町村が発行する「障害福祉サービス受給者証」の利用者負担上限額欄に記載されている金額がひと月当たりの負担金額の上限額となるので、それ以上ご負担する必要はない。

(2) 指定短期入所事業について

居宅において障がい者の介護を行っている方が病気や冠婚葬祭そのほかの理由により、短期間の宿泊を必要としている障がいのある方に対して、入浴や食事等日常生活上の支援を提供する事業。

【利用対象者】

主に精神障がい者の方で、短期入所サービスの受給決定を受けられた方。

【利用定員】

2名

【利用期間】

市町村が決定した支給量（日数）を限度とする。

【利用料金】

食費とサービスにかかる総費用額の1割が必要。ただし、サービス総費用額の1割負担については、市町村が発行する「障害福祉サービス受給者証」の利用者負担上限額欄に記載されている金額がひと月当たりの負担金額の上限額となりますので、それ以上負担する必要はない。

(2) 熊本県あかねホーム**【事業内容】**

- 指定共同生活援助事業を実施。

(1) 共同生活援助事業（グループホーム）について

地域において共同生活を営むうえで支障がない方で、共同生活を営む住居において相談その他の日常生活上の援助を行う事業。

【利用対象者】

主に精神障がい者の方で、就労や就労継続支援等の日中活動を利用し、地域において自立した日常生活を営むうえで、相談等の日常生活上の援助が必要な方。

【利用方法】

入居での利用。

【利用定員】

10名

【利用期間】

原則1年間（1年間の延長可）

【利用料金】

① サービスにかかる総費用額の1割が必要。ただし、サービス総費用額の1割負担については、市町村が発行する「障害福祉サービス受給者証」の利用者負担上限額欄に記載されている金額がひと月当たりの負担金額の上限額となるので、それ以上負担する必要はない。

② 月額25,000円の家賃が必要。その他に、毎月利用分の光熱水費の負担が必要。

（障害者自立支援法の一部改正により、H23年10月サービス提供分より家賃補助として、特定障害者特別給付費 10,000円が補助されている為、利用者の家賃負担額は15,000円に軽減されている。）

(3) 熊本県あかねワークセンター**【事業内容】**

○指定就労継続支援（B型）事業を実施。

指定就労継続支援（B型）事業について

障がいがある方に作業を通して、働くために必要な技術・技能の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活が出来るよう支援する事業。

【利用対象者】

主に精神障がい者の方で、通常の企業に雇用されることが困難であったり、就労に対して不安や自信がない方。

【利用方法】

通所での利用。

【作業の内容】

① 刷作業（各種伝票・冊子など） ② 製菓作業（クッキー・パウンドケーキなど）
③ 製靴作業（スポーツバッグ・エコバッグなど） ④ 軽作業（お菓子箱折りなど）

【開所日・開所時間】

原則 月曜日～金曜日までの午前9時～午後4時まで

【利用料金】

サービスにかかる総費用額の1割が必要。ただし、サービス総費用額の1割負担に

については、市町村が発行する「障害福祉サービス受給者証」の利用者負担上限額欄に記載されている金額がひと月当たりの負担金額の上限額となるので、それ以上負担する必要はない。(活動内容によっては実費負担あり)

(4) あかねの里の利用状況

表1 利用実績

(平成24年度)

月別利用者数	あかね荘 (定員50人)		あかねホーム (定員10人)		あかねワークセンター (定員30人)		計	
	H23年度	H24年度	H23年度	H24年度	H23年度	H24年度	H23年度	H24年度
月	人	人	人	人	人	人		人
4	57	98	9	9	34	32	100	139
5	58	101	8	10	30	33	96	144
6	52	101	9	10	32	33	93	144
7	55	98	8	10	34	32	97	140
8	55	101	9	10	37	32	101	143
9	50	96	10	9	35	33	95	138
10	52	93	9	10	35	31	96	134
11	55	90	9	9	34	31	98	130
12	55	86	9	10	34	31	98	127
1	52	82	9	9	33	31	94	122
2	54	90	9	9	33	31	96	130
3	54	89	10	9	33	32	97	130
計	649	1125	108	114	404	382	1161	1621
平均利用者数	54	94	9	10	34	32	97	135

*月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

*平成24年度より、あかね荘は、日中については自立訓練(生活訓練)事業所、夜間について宿泊型自立訓練事業所の指定を受けていることから、利用者数については、日中と夜間者数の合計人数とした。

(5) 利用者の住環境等改善

①平成24年度熊本県障害者自立基盤整備事業補助金を活用しての施設整備

・熊本県あかねホーム改修工事 12,156,000円

工事内容:居室(10室)のフローリング化、ユニット式バス・トイレ、キッチンの取床シートの張り替え、その他共有部分の改修
管理人室の改修

②平成24年度日本財団福祉車両助成金を活用しての送迎車両の購入

・日産セレナ 普通車 8人乗り 1,925,820円

(6) 洗濯機・乾燥機のランドリーカード化

・今年度より洗濯機と乾燥機のランドリーカード化を行い、機械の維持管理費、光熱水費の

(7) 個別支援計画に基づく支援の向上

①利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定

②個別支援計画に基づく統一支援の徹底

③利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底

④スーパービジョンによる支援の徹底

8 見学者の受入

表2 見学者実績

(平成24年度)

月	機関数(箇所)	人数(人)	備考
4	4	10	利用希望者、行政機関 精神科病院、障害者福祉 サービス事業所、教育機関 等が見学
5	9	26	
6	9	27	
7	3	9	
8	4	15	
9	9	23	
10	4	10	
11	6	13	
12	6	16	
1	1	2	
2	5	18	
3	4	33	
計	64	202	
1ヶ月平均	5	17	

* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

9 職員配置基準数

表3 職員配置

平成24年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1		1	
サービス管理責任者	1	1		1		1	
地域移行支援員		1					
生活支援員	13	4			3		
職業指導員					1		1
世話人		1		2			
相談支援専門員		1					
事務員		1					
実人数	19		1		6		

* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

10 利用者退所状況

表4 退所状況

(平成24年度)

事業所			あかね荘	あかねホーム	あかねワークセンター
登録者・入居者実数			30	4	5
社会復帰した者	家庭内適応	家業従事	1	0	0
		家事従事	1	0	0
		無役割	1	0	0
	自立	就労	3	0	0
		生活	5	1	0
		就学	0	0	0
	生活保護	生活	3	3	0
		アルバイト	0	0	0
小計 (A)			14	4	0
社会復帰できなかった者	再入院	10	1	1	
	他科入院	0	0	0	
	他施設入所	0	0	0	
	勧告退所	3	0	0	
	希望退所	7	1	0	
	無断退所	1	0	0	
	死亡	0	0	0	
	その他	0	0	0	
小計 (B)			21	2	1
合計 (C)			35	6	1
社会復帰率 (A / C)			40%	67%	0%

4 その他事業（熊本県・熊本市からの受託事業等）

熊本県・熊本市からの委託を受け次の事業を実施した。

(1) 熊本県精神科二次救急医療事業

- ・ 輪番病院の編成委託業務
システムの円滑な稼動に努めた。
- ・ 精神障害者搬送業務委託業務
措置入院に係る搬送 10 件の搬送を行った。

(2) 精神障がい者地域移行支援事業

① (高齢入院患者地域支援事業)

熊本県関係
参加病院 7 病院、
熊本市関係
参加病院 7 病院

② (地域体制整備コーディネーター配置事業)

熊本県関係 各圏域に 1 名配置 10 名
熊本市関係 3 名配置

(3) 熊本県精神科救急情報センター

平成 24 年 9 月から受託（全会員病院参加）

平成 24 年度熊本県精神科救急情報センター相談対応件数

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	97	54	32	32	53	32	52	352

(4) 熊本県との共催事業

- ・平成24年度うつ病に対する医療連携のための研修会
一般かかりつけ医と精神科医との医療連携体制強化のための研修会を県と共催で開催した。

開催圏域（菊池、阿蘇、上益城、八代、山鹿、天草、宇城、人吉）

5 その他（後援等）

精神保健福祉関連機関の催事に対し、要請に応じて次の通り後援した。

	催 事	主 催 団 体	開 催 日
1	第42回熊本県精神障害者家族大会	(社)熊本県精神障害者福祉連合会	平成24年6月6日 県立劇場演劇ホール
2	第19回ふれあいピック（平成24年度地域精神障害者スポレク大会）	熊本県障害者スポーツ・文化協会、(社)熊本県精神障害者福祉連合会	平成24年10月26日 パークドーム熊本
3	第50回熊本県精神保健福祉大会	(社)熊本県精神保健福祉協会、熊本県、熊本県精神科病院協同組合	平成24年9月21日 県立劇場演劇ホール
4	第20回精神障害者作品展（心の健康フェスタ）	(社)熊本県精神保健福祉協会	平成24年11月4日 熊本市交通センターイベント広場

6 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、委員会議・連絡会議等に出席し意見交換・情報交換・実地審査等に赴き、連携強化を行った。

(審査会等への出席)

熊本県麻薬中毒審査会
障害者自立支援法に係る審査会
国民年金障害認定審査会

(会議等への出席)

熊本市児童虐待防止ネットワーク連絡会
熊本県DV対策関係機関会議
熊本県地域リハビリテーション支援センター運営委員会・協議会

熊本県地域医療観察制度運営連絡協議会

熊本県認知症疾患医療連携協議会

(研修等への協力)

熊本県介護支援専門員更新研修の講師派遣

(医師等の推薦)

こころの健康相談事業

精神科医療と難病相談・支援センター連携事業

熊本産業保健こころの健康アドバイザー事業

心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医及び精神保健参与員

(その他)

医学部卒後研修の共通プログラム研修

くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

7 九精協・日精協及び関連機関の事業

(ア)九精協

理事会（平成 24 年 4 月 20 日・平成 24 年 9 月 28 日）

定期総会（平成 24 年 10 月 25 日）

九精協各県理事合同研修会

（88 回：平成 24 年 4 月 20 日宮崎）

（89 回：平成 24 年 9 月 28 日鹿児島）

第 16 回九精協各県事務局担当者連絡会議

（平成 24 年 7 月 20 日福岡）

第 9 回九精協看護部長等代表者会議

（平成 24 年 6 月 8 日長崎）

第 58 回九州精神保健学会・第 65 回九州精神神経学会

（平成 24 年 10 月 25 日・26 日大分）

(イ)日精協

総会・代議員会・理事会・各委員会等に参加し、積極的に情報の収集と伝達、あるいは支部の意見を取り纏めて具申し、精神科医療と福祉の向上に努めました。

1. 出席会議等

・ 総会	年間 2 回
・ 支部長会	年間 1 回
・ 理事会	年間 6 回
・ 代議員会	年間 2 回
・ 医療問題委員会	年間 18 回
・ 看護・コメディカル部会	年間 7 回
・ 認定看護師分科会	年間 2 回
・ 保険診療・指導監査に対する専門対応チーム	年間 3 回
・ 地域移行推進委員会	年間 12 回
・ 通信教育分科会	年間 2 回
・ 認知症臨床専門医分科会	年間 2 回

2. 平成 24 年度熊本県精神科医療連絡協議会に参加。(24/7/18)
3. 厚生局指摘事項に係る資料提供に協力しました。(24/8)
4. 第 1 回日本精神科医学会学術大会 (旧日精協精神医学会) (大阪府) に参加。
(24/10/9・10)
5. 医療法人蘇春堂光生病院が平成 24 年 10 月末日付で日精協を退会されました。
6. 支部会員病院の永年勤続職員 32 名表彰伝達を行ないました。
実施日 平成 24 年 11 月 22 日 場所 ホテルニューオータニ熊本
荒尾こころの郷病院 1 名、阿蘇やまなみ病院 2 名、有働病院 4 名、菊池有働病院
6 名くまもと心療病院 2 名、小柳病院 1 名、益城病院 2 名、城南病院 2 名、玉名
病院 1 名みずほ病院 1 名、明生病院 4 名、八代更生病院 1 名、弓削病院 1 名、吉
田病院 1 名、城ヶ崎病院 3 名、合計 32 名
7. 第 2 回保険診療と診療報酬施設基準等に係る研修会 (福岡) に多数参加を行いました。
(24/12/13・14)
8. 精神科病院における長期入院患者に関する調査に協力。(24/12)
9. 日精協地域移行推進委員会移動委員会研修会を実施しました。
実施日 平成 25 年 2 月 1 日 場所 ホテル日航熊本 参加者 92 名

8 要望書の提出

なし

9 新入会会員・退会会員について

(新入会会員)

池上第二クリニック 池上研先生 (24 年 6 月 1 日付)

熊本市こころの健康センター 所長 井形るり子先生 (24 年 6 月 1 日)

こころの元気クリニック 山田健二先生 (24 年 7 月 1 日)

(退会会員)

ハートフル心療内科 大内清先生 (閉院) (25 年 1 月末)

かわさきメンタルクリニック 河崎隆先生 (閉院) (25 年 2 月末)